

大同メタル佐賀(佐賀県武雄市、川地利明社長)

は、鋼材の洗浄工程で熱交換器とヒートポンプを活用して工場の脱炭素化を推進している。同社は自動車や船舶などで用いるすべり軸受の材料であるバイメタルを製造・販売する。2023年から順次、設備投資を進めてきた。ヒートポンプと冷風機を生かした現場環境の改善にも取り組む。

同社が熱交換器の設置に乗り出したきっかけは、23年2月に日本電気協会が開いた排熱回収に関するセミナーだった。以前から工場の脱炭素化に向けた検討を進めてお

# 大同メタル佐賀

**モノづくり現場**

生産革新・脱炭素社会への挑戦

6

## 洗浄に熱交換器・ヒートポンプ



り、受講をきっかけに取組みを加速。他社製品と比べて小さく、工場内

# 排水の熱再利用 CO2削減

り、受講をきっかけに取組みを加速。他社製品と比べて小さく、工場内交換器を導入した。2回洗浄する。熱交換器は、冬場の加熱を促進す

は、調達した鋼材に付着した油を落とすための洗浄ラインに設置した。洗浄ラインでは、MDIの製品は小型で空きスペースに設置しやすい。ボイラで約60度Cに温めた温水を利用しており、2回洗浄する。熱交換器は、冬場の加熱を促進す

【事業所概要】▽所在地 佐賀県武雄市北方町大崎5088の9、0954・27・8250▽主要生産品目 自動車や船舶、発動機部品向け複合材の製造・販売▽年間CO2排出量 5171ト(24年度)